

議会だより

# おしのがき

No.43

平成27年8月12日

発行：徳島県吉野川市議会



吉野川市納涼花火大会

阿部和剛（川島町）



## 目次

副議長あいさつ	2
討論・採決	3
代表質問	8
一般質問	10

市民のページ	15
クイズ	15
募集・あとがき	16

# 副議長の改選・監査委員の選任 委員会構成の変更がありました

副議長あいちゅう



副議長  
相原 一永

6月議会定例会におきまして、議員各位のご推挙をいただき副議長に就任いたしました。副議長という大任を押し、その責任の重さを痛感いたしましたしております。

微力ではあります。議長を支え、公正かつ円滑な議会運営に努めてまいりますので、よろしくお願いたします。

少子高齢化対策、災害対策など、市政の課題は山積いたしております。

市民の皆さまの安心・安全をまず確保するとともに、活力ある街の実現に向け、市議会の総合力を発揮できまよう、全力で頑張る決意でございます。

市民の皆さまのご支援、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。就任のご挨拶いたします。

## 各委員会構成

### 【常任委員会】

総務常任委員会 (7)		文教厚生常任委員会 (7)		産業建設常任委員会 (6)	
委員長 福岡 正	委員 岡田 光男	委員 長 塩田 智子	委員 長 塩田 智子	委員 長 川村 辰夫	委員 長 阿佐 勝彦
副委員長 岡田 光男	委員 岸田 益雄	副委員長 田村 修司	副委員長 田村 修司	副委員長 阿佐 勝彦	副委員長 阿佐 勝彦
委員 岸田 秀樹	委員 枝澤 幹太	委員 藤原 一正	委員 細井 英輔	委員 河野 利英	委員 河野 利英
委員 岸田 益雄	委員 増富 義明	委員 相原 一永	委員 藤原 一正	委員 近久 善博	委員 近久 善博
委員 岸田 益雄	委員 増富 義明	委員 工藤 俊夫	委員 藤原 一正	委員 高木 純	委員 高木 純

### 議会運営委員会 (7)

委員長 細井 英輔	委員 岸田 秀樹	委員 岸田 智子	委員 原田 由一	委員 川村 辰夫	委員 福岡 正	委員 工藤 俊夫
-----------	----------	----------	----------	----------	---------	----------

### 議会広報特別委員会 (6)

委員長 岸田 益雄	委員 岡田 光男	委員 岡田 智子	委員 阿佐 勝彦	委員 田村 修司	委員 高木 純
-----------	----------	----------	----------	----------	---------

### 監査委員 (1)

工藤 俊夫
-------



## 各党派構成

薫風会	河野 利英	岸田 秀樹	近久 善博	細井 英輔	塩田 智子	志誠会	工藤 俊夫	高木 純	田村 修司	川村 辰夫	増富 義明	郷土・麻植会	藤原 一正	岸田 秀樹	由美会・清風会	福岡 正	原田 由一	民主クラブ	北川 麦	公明党	相原 一永	日本共産党	岡田 光男	新しい風吉野川	阿佐 勝彦
-----	-------	-------	-------	-------	-------	-----	-------	------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	---------	------	-------	-------	------	-----	-------	-------	-------	---------	-------

◎代表 ○副代表 ★経理責任者

平成27年6月議会  
定例会

# 議案の審議から

会期：平成27年6月2日～6月25日

6月定例会では、条例案5件、予算案2件、議員発議3件、その他8件が提案され、審議されました。

■ 討論

発議第1号  
吉野川市議会議長  
兼原五男君の不信任  
決議案

○ 提出者 近久 善博  
□ 提出理由

本市議会の先例申し合わせでは、議長の任期については、1年となっておりませんが、今回、兼原議長は統投の意を表明し、紳士協定である先例を覆す行為は認められない。よって、議長の信任に値しない。

◇ 反対討論

高木 純

兼原議長は、議長としての責務を十分に果たしているのに、不信任は該当しない。

◇ 賛成多数により可決



発議第2号  
「安全保障関連法案」の慎重審議を求める  
意見書

○ 提出者 岡田 光男  
◇ 反対討論

北川 麦

集団的自衛権の行使を可能とする安全保障関連法案の成立には、私自身大反対であり、戦争する国にしてはならないと思っている。

政府は本法案の審議について通常国会としては戦後最長の95日間にもおよび会期延長を断行している。今後与野党入りみだれて議論されるはずである。与野党一触即発の時期にこの意見書を吉野川市議会の総意として内閣総理大臣に提出することで、地方交付税が減らされたり国の補助事業を先延ばしされるなどのことが、もしあるとしたら、不幸なのは吉野川市民である。よって意見書を提出することに反対する。

◇ 賛成少数により否決

発議第3号  
吉野川市議会議長  
兼原五男君の議長辞  
職勧告決議

○ 提出者 河野 利英  
□ 提出理由

今定例会は、吉野川市議会の慣習により、正副議長の交代を図る、もしくは信任を問う議会であるにもかかわらず、議長は市議会の慣習を顧みなかった。

議会改革を進めている途中であるとの理由であったが、過日の全員協議会で「議会改革検討協議会」を設置することに議員全員の賛同を得て、一定の道筋が出来たのにも関わらず、議長の職を辞していない。

新聞の取材に対して「議会改革を進めている途中であり、定例会最終日(25日)に議長を辞めようと思っている。」との発言をしながら、守ろうとしない。

よって吉野川市議会議長の職を務めるに値しないことが明らかで

あるため、円滑で公平な議会運営をするために、吉野川市議会は、兼原五男議長の職を辞することを勧告する。

◇ 反対討論

阿佐 勝彦

議会改革検討協議会は、形ができただけでは、内容に全くふれておらず、辞めるには時期尚早だと思われるので反対討論とする。

◇ 賛成討論

枝澤 幹太

正副議長、正副委員長の任期は、紳士協定を守り、後任に引き継いできた。しかし、それを守らず、理由として議会改革を挙げられているが、議会改革検討協議会を立ち上げ、月1回程度の協議を重ねることを決定し、議会改革の道筋がはっきり示された。よって、賛成討論とする。

◇ 賛成多数により可決

※賛成は「○」、反対は「×」、退席は「-」、欠席は「欠」で表示。  
※発議第1号および、発議第3号は裁決結果により、法的拘束力を伴うものではありません。

採決	発議番号	議案名	議員																採決結果						
			塩田智子	岸田益雄	原田由一	阿佐勝彦	細井英輔	河野利英	岸田秀樹	藤原一正	枝澤幹太	近久善博	川村辰夫	田村修司	高木純	相原一永	福岡正	兼原五男		工藤俊夫	増富義明	北川麦	岡田光男		
	発議第1号	吉野川市議会議長兼原五男君の不信任決議案	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×	可決
	発議第2号	「安全保障関連法案」の慎重審議を求める意見書	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	否決
	発議第3号	吉野川市議会議長兼原五男君の議長辞職勧告決議	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	可決

# 委員会の審議

託案件について審議し、承認・可決されました。

## 総務常任委員会

▼吉野川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

▼吉野川市税条例等の一部を改正する条例について

**質問**  
軽自動車税率の特例については、平成27年4月1日から平成28年3月31日までの間に初めて車両番号の指定を受けた車両について、適用されることだが、適用は、平成28年度限りなのか、また、それぞれ適用区分が定められているようだが、その概要は。

### 税務課長

特例に関する適用は、平成28年度限りである。適用区分については、三輪以上の環境対策基準をクリアした軽自動車を対象で、電気自動車、天然ガス軽自動車など排出ガス保安基準、窒素酸化物排出量などにより、税率が定められている。

▼平成26年度吉野川市一般会計補正予算について

### 質問

減債基金と財政調整基金を合わせて3億6000万円とのことだが、多すぎるのではないか。基金を積み立てることも必要だが、道路の維持、修繕など市民からの要望に基金の一部をあてることはできないのか。

### 企画財政課長

本市が抱える人口減少問題や、基幹産業の振興などの重要課題に対応した施策を展開していくことが引き続き求められており、引き続き、安定的な財政運営を行うため、財政調整基金および減債基金の積み立てを行う。

◇以上異議なしで承認

### 【軽自動車税のグリーン化特例（軽課）】

平成28年3月31日までに新規取得した三輪・軽四輪で、排出ガス性能及び燃費性能の優れた環境負荷の小さい軽自動車の平成28年度の軽自動車税に適用されます。(1年のみ)

【軽乗用車】	内容	【軽貨物車】	内容
電気自動車等	概ね 75%	電気自動車等	概ね 75%
H32 年度燃費基準 +20% 達成車	概ね 50%	H27 年度燃費基準 +35% 達成車	概ね 50%
H32 年度燃費基準 達成車	概ね 25%	H27 年度燃費基準 +15% 達成車	概ね 25%

※電気自動車等：電気自動車及び天然ガス自動車です。

※ガソリン車・ハイブリッド車は、いずれも平成17年排出ガス基準75%低減達成車に限ります。

# 平成27年6月議会 定例会

# 常任

各常任委員会では、条例案5件、予算案2件の付

## 文教厚生常任委員会

▼吉野川市介護保険条例の一部を改正する条例について

▼平成26年度吉野川市一般会計補正予算について

▼吉野川市養護老人ホーム施設整備基金条例を廃止する条例制定について

▼平成27年度吉野川市一般会計補正予算について

◇以上異議なしで承認・可と決定

### 【その他の質問】

#### 質問

川田・美郷地区における学校再編施設整備の進捗状況は。

#### 学校再編準備室長

昨年11月に川田・美郷地区の4校から保護者・地域・学校関係の代表29名で発足し、校名・校歌・校章などの学校再編に関わる項目を協議している。校名は、6月30日までアイデア募集をしている。

6月19日、7月14日にワークショップを開き、さまざまな人からの意見を聴く。学校再編準備委員会29名と公募による参加者からの意見を基本設

計にできる限り反映するように考えている。

#### 質問

3月議会定例会にスマホと学力の相関関係について質問し、保護者にプリントを配ってほしいと要望したが、どのようになっているのか。

#### 教育次長

4月の校長会において資料を配り、学力向上の視点から保護者に周知してくれるよう依頼している。現在、何校が周知しているかは、把握していない。



川田・美郷地区のワークショップの風景

# 産業建設常任委員会

▼平成26年度吉野川市一般会計補正予算について

質問

吉野川市プレミアム付き商品券について、どのような販売方法、販売時期、利用時期、換金方法を考えているのか。

商工観光課長

往復ハガキによる事前受付とし、発行数を越えた申し込みがあった場合は抽選により決定する。商品券の交換は返信用ハガキで案内し、市内の商工会議所、商工会で購入してもらう。換金手続きについては、市内に支店がある金融機関に協力をお願いする。

吉野川市プレミアム付き商品券のポスター

予定としては、7月下旬から8月下旬にかけて商品券の事前申し込みの受付をし、抽選などを経て8月下旬に返信用ハガキで当選証を送付する。9月1日から商品券を販売し12月末で商品券の取り扱いは終了することとしている。

▼吉野川市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について

▼平成27年度吉野川市一般会計補正予算について

質問

婚活イベント事業の実施内容は、また、実施の時期や募集人数などは。

商工観光課長

食事も、体験活動を通じて結婚を希望する男女に出会いを提供し、カップル成立から結婚へ、本市に定住してもらうことを目的に実施する。対象者は20歳〜40歳代の男女各30名。実施時期は11月を予定。募集については新聞、ポスターなどで案内する。

◇以上異議なしで承認、可と決定

## 代表・一般

## ここが聞きたい

## 質問

6月議会定例会では9名の議員が代表・一般質問を行いました。 ●の質問を中心に取り上げました。

## 代表質問

## ①河野利英

- 市長の所信表明より
- 多子世帯保育料無料化事業について
- 市民への情報伝達について
- 中心市街地の活性化について
- 小学校の統合およびこども園の整備について
- プレミアム商品券発行事業について

## ②工藤俊夫

- 学校施設の耐震診断について
- 図書館の設置について
- 都市計画道路について
- 麻名用水堰撤去工法について
- 四国遍路札所藤井寺の周辺整備について

## 一般質問

## ③川村辰夫

- マイナンバー制度について
- 介護サポーター養成について
- 消防団の活性化について

## ④高木純

- 市内企業のデータベース構築について
- 福祉避難所について
- ブランド認証品について
- 空き家対策について
- 吉野川市に住んでみんなで事業について

## ⑤近久善博

- 危険空き家撤去について
- 飯尾川の水害について

## ⑥阿佐勝彦

- 学童保育への支援について
- 児童館の運営について
- 小学校入学時の給食開始日について
- 鴨島運動場の活用・管理について

## ⑦田村修司

- 市民の体力向上について
- 老人クラブ・婦人会について
- 公用車での事故について

## ⑧岡田光男

- 地方創生について
- 学校給食について
- 合併算定替え終了を受けた交付税見直しについて
- 森林・山村多面的機能発揮対策について

## ⑨増富義明

- 吉野川市総合戦略について
- 地域少子化対策強化交付金について
- 電力の自由化について

# 代表質問



河野利英  
(薫風会)

## 中心市街地活性化の 取り組みは

(質問)

麻植協同病院跡地が中心市街地  
活性化の象徴となるよう要望し  
ていく

(答弁)

### ◎質問

新しく吉野川医療センターが開院し、多くの方が来院している一方、麻植協同病院跡地周辺は、車や人の往来が少なくなりました。中心市街地活性化に向けて国や県、J・A、企業や民間事業者などを巻き込んで、市主導で取り組むべきと考えるが。

また、空洞化が心配される中心市街地に、住民が歩いて移動できるように、都市機能を集約させ公共投資の効率化を進めるコンパクト

トシテイ化の調査研究を推進しては。

### ○河野副市長

吉野川医療センターの移転により、市街地の中心部に大規模な空き地が生じたが、駅前周辺市街地の再生に向けた機会ととらえ、街中の賑わいの創出、中心市街地活性化、地域の安心・安全の確保など地域の創意工夫を反映した総合的なまちづくりを進めるため、有益な跡地利用が求められる。

しかし、当該跡地はJ・A徳島厚生連の所有となっており、現在のところ具体的な方針は決まっていない。市として今後、病院跡地が中心市街地活性化の象徴となるよう要望していく。

### ○村田建設部長

健康で快適な生活環境を実現することや、財政・経済面において持続可能な都市経営を可能にするなど、さらに自然災害に対する事前予防を進めていくために福祉や交通なども含めて都市全体の構造を見直し、コンパクトなまちづくりをめざし、調査研究を推進していく。

### 【その他の質問】

#### ◎質問

地方創生の取り組みは。

#### ○政策監

「吉野川市地方創生

推進協議会」を組織し、策定する。

#### ◎質問

多子世帯保育料無料化事業の内容は。

#### ○健康福祉部長

所得制限を設けず、制度を拡大する。

#### ◎質問

防災行政無線の難聴地域解消の取り組みは。

#### ○防災局長

ケーブルテレビを活用し、字幕放送による災害情報伝達に取り組む。

◎質問  
小学校統合および、こども園の整備について今後の予定は。

#### ○教育次長

住民の意見を反映させるため、ワークショップの開催を計画している。

#### ◎質問

プレミアム商品券発行事業の現在の取り組みは。

#### ○産業経済部長

1人2セット1世帯10セットを上限に9月から販売予定。



麻植協同病院跡地



# 平成27年6月 議会定例会



工藤 俊夫  
(志誠会)

日本遺産四国遍路札所  
藤井寺の周辺整備を

(質問)

今後関係機関と連携して  
取り組む

(答弁)

## ◎質問

文化庁は4月24日に、徳島県を含む四国4県と本市をはじめ関係57市町村が申請していた約1400kmを「四国遍路」回遊型巡礼路と独自の巡礼文化」として日本遺産に登録・認定した。10番札所切幡寺から11番札所藤井寺に至るまでが本市の遍路道であり、近年外国の人たちも増え、国際的巡拝が行われている。

また、車での参拝は効率よく回れ、ほとんどはお寺の前まで入ることができるよう

なったが、南の山麓から藤井寺までの道路の幅は狭く、山門まで行くのは、渋滞が常態化している。そこで、日本遺産に登録されたことを好機と捉え、国の地方創生事業で周辺整備として道路改良工事はできないのか。

## ○村田建設部長

市が管理している道路について、大型車両の進入がスムーズに行えるよう、さらに生活道路としての機能が損なわれないよう、改良

工事については現在、進捗が図られている。

地方創生での藤井寺周辺の整備・道路の改良については、「しごと」「ひと」の好循環を支える「まち」の活性化として、小さな拠点・経済・生活圏の形成、地域連携などによる「新しいまちづくり」推進が求められている。

また、総合戦略策定に向けて現在作業中であり、交付金など国の補助事業として対象になるのか不透明な状況であるので、今後検討すべき課題であると考えている。

## ◎再問

現在、施工延長160mで計画され推進しているとのことであるが、4分の1程度の距離では、藤井寺の山門までの周辺整備工事には、ほど遠い。今後において市単独予算で延伸工事をするのか。

また、四国遍路道の整備事業で、協議しな

から周辺環境整備を進めるのか。

## ○村田建設部長

今後においても、地元との連携を図り、全線での道路拡幅が早期に終わられるよう、また、補助事業採択などの事業化を含め検討する。

## ○貞野教育次長

四国遍路四国ブロック全体が対象となっているので日本遺産協議会が5月に設立され、四国が一体となって計画的効率的に実施し、地域活性化が図られることになっている。



藤井寺周辺道路

平成27年6月議会定例会

一般質問



かわむら たつお  
川村 辰夫

(質問) マイナンバー制度導入による取り組み状況は

(答弁) 基幹システムの変更を進めている

◎質問

平成27年10月から住民票を有する市民一人ひとりにマイナンバーが付与され、28年1月から年金、社会保障、税務、災害対策の分野での利用が開始される。個人番号カードの交付や条例の改正、情報システムの改修などが必要と思われるが、現在の取り組み状況と、制度導入にあたり、市民にどのような利便性があるのか。

◎香川政策監

個人番号が記載された通知カードが作成され、10月から各家庭への郵送が始まる。

現在、基幹システムの変更を進めている。本市の個人情報保護条例に規定のない特定個人情報マイナンバー法で定義されたことから、条例での取り扱いについて検討している。制度導入後は、社会保障、税関係の申請時の面倒な手続きが簡単になる。

セキュリティ対策として、個人情報提供機関ごとに分散して保管し、情報照会はいんターネットとは接続されない専門回線を使用し、符号・暗号化などの方法をとる。市民への周知方法としては、市のホームページや広報誌に掲載している。

では、情報の照会、転記等に要する時間・労力が大幅に削減される。

【その他の質問】

◎質問

介護予防サポーターを生活支援サービスとして活用しては。

◎健康福祉部長

目的や研修項目などが違うので難しい。

◎質問

生活支援サービスモデル地区を設定し、普及していく考えは。

◎健康福祉部長

コーディネート養成後にモデル地区の設定を考える。

◎質問

消防団活性化に向けた防災局の考えは。



たかぎ じゅん  
高木 純

(質問) 特産品ブランド認証制度により経済活性化の効果はあったのか

(答弁) 十分な検証はできていない

◎質問

吉野川市特産品ブランド認証制度のメリットを売り上げ増に活かすのは、それぞれ業者の責任であるが、ブランド認証を行うことで商品の売り上げが伸びた事例はあるのか。

また、市は今年度より販路拡大に関するブランド認証事業所物産展等出展支援事業補助金を創設しており、すでに申し込みもあるとの

知や販路拡大を目的として事業者が展示会やイベントなどへ出展する際の経費に対し、補助率2分の1、20万円までを上限として補助する「ブランド認証事業所支援事業」を本年4月から施行しており、現時点で3件の申請がある。

◎再問

特産品の販路開拓を自治体や市が流通の窓口を雇い入れて支援している事例は、全国でも多くある。

例えば、横浜市では認定から1年間、市が雇った販路開拓・PRのコンサルタントを月1回程度派遣し、販売計画の策定や販路開拓商品などのPR手法などについてアドバイスしている。

また、熊本県玉名市では、六次産業化によ

手伝うことで、地元特産品の売り上げ拡大を図り、地域経済の活性化に努めている。

横浜のコンサルタント派遣であるとか、玉名市のように流通の窓口を雇い入れる方が、多種多様にあるブランド認証品の販路拡大に対応できるのではないのか。

◎大久保産業経済部長

販路開拓のための支援としては、公益財団法人とくしま産業振興機構が行う販路開拓をはじめ、さまざまな分野の専門家の派遣や商談会、商工会議所、商工会が行う販路開拓のための支援もあるの



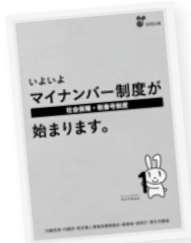
よしひろ 善博  
ちかひさ 近久

また、マイナンバーを用いた個人情報が入部漏れによる不正利用などによる被害が懸念されるが、セキュリティ対策をどのように行い、制度導入について、どのような手段で周知するのか。

◎再問  
個人番号は、選択・変更ができるのか。また、システム改修費、費用対効果は。

◎香川政策監  
個人番号の選択・変更はできない。費用は8715万9000円で、制度の効果について

◎防災局長  
施設、装備の充実、報酬の見直しも研究し、活性化に取り組む。



マイナンバー制度のパンフレット

ことだが、その状況は。  
◎大久保産業経済部長  
ブランド認証品に認証されたことによる経済効果については、十分な検証をしていないため不明。今後、アンケート調査を実施するなど状況の把握にも努めたい。  
ブランド認証品の周

て新たに作られた商品の販路開拓を積極的に支援しており、その方法として流通に詳しい人材を期限付き職員として雇用し、流通のプ



ブランド認証商品  
カタログ

(質問) 危険空き家の強制撤去をどう進めていくのか

(答弁) 慎重に対応していく

◎質問  
空き家対策の特別措置法が平成27年5月に全面的に施行された。全国には820万戸の空き家があり、徳島県の空き家率は17・5%

で全国で5番目に多いようである。

市町村は治安や防災の問題が懸念される空き家の所有者に撤去や修理を勧告、または命令することができる。

勧告を受けた物件は土地の固定資産税優遇措置が受けられない。自治体からの勧告を受けても「改善しない物件については平成28年度分から優遇措置の対象外とする」などが決められたが、  
①本市の空き家の状況は。  
②平成25年度から補助金を利用して撤

去した件数は。また、今後も継続していくのか。  
③倉庫や納屋も危険空き家の対象となるのか。

◎村田建設部長

平成25年度に総務省が実施した本市の調査では、空き家は2830戸、率にして18・3%で防災面や防犯面、景観などへの影響が問題となっている。

現在、地域の防災性の向上を図るため、災害などで倒壊し道路を閉塞するおそれのある

危険空き家の除去に要する費用に対し「老朽危険空き家除去支援事業」として助成を行っている。

実績として平成25年度5件、26年度11件、今年度7件を予定している。倉庫や納屋は事業対象にはならないが、空き建築物の跡地が近隣の無料駐車場など地域活性化に活用される場合、条件付きで事業対象となるよう準備を進めている。

◎再問  
平成25年度より工事費の8割、上限80万円

で撤去費を補助し事業を進めてきたが達成率はあまり上がっていない。平成28年度から、撤去勧告や固定資産税の優遇処置の取り消しなどを進めていくのか。

◎村田建設部長

特定空き家の認定、その後の指導および勧告を実施できるよう、体制ならびに認定基準を整備し進めていくが、個人の所有権を侵害する恐れがあるので慎重に対応したい。

【その他の質問】

◎質問  
麻名用水堰・飯尾川橋下のふとんかごの撤去は。

◎建設部長

麻名用水堰の撤去が完了次第、速やかに行うと聞いている。



老朽危険空き家



あさ かつひこ  
阿佐 勝彦

〔質問〕学童保育・学童クラブの支援は

〔答弁〕調査、研究を行い方策を探りたい

◎質問

本市は、子育てに力を入れていてところであり、多子世帯保育料無料化の動きが出ているなか、学童保育への支援も必要だと考えるが、

①本市の学童保育の現状はどうなっているのか。

②学童保育によって、公設公営、公設民営、民設民営と、いろいろなスタイルがあるが、公設公営にすべきではないか。

③学童クラブの利用額負担を補助する考えは。

ラブごとに運営が行われている。現在、13クラブで547名の児童が登録している。補助金については、併せて約6200万円の補助金を交付している。

②運営内容や指導方法は、各学童クラブごとの実情に合わせて独立した運営が行われており、現行の体制が望ましいと考える。

③多子世帯や一人親世帯への補助金交付については、現在実施していないが、独自で助成しているクラブもある。市からの補助を行うためには、全クラブでの実施が必要となる。今後、各クラブの現状について、調査、研究を行い方策を探りたい。

◎再問

小学校の空き教室を活用しては。

◎寒川教育次長

現在、3クラブが学

【その他の質問】

◎質問

土曜日の児童館開所時間を午前からに変更できないのか。

◎健康福祉部長

指定管理者と十分協議を行い、事業目的の達成に向けて支援していきたい。

◎質問

市内各小学校の一年生の入学時における給食開始日が半月も違うが、統一できないのか。

◎教育次長

可能な範囲で、平準化の検討を求めている。



かもじま児童クラブ



たむら しゅうじ  
田村 修司

〔質問〕老人クラブ・婦人会への補助金を増額しては

〔答弁〕今後の検討課題とする

◎質問

全国老人クラブ連合会によると、その会員数は約650万人で、ピーク時を約240万人近く下回っており、会員の激減により、多くの老人クラブが活動困難な状況であると聞く。婦人会も、徳島県下でピーク時には10万人だった会員が2万人にまで減少しているようだ。

本市における老人クラブ、婦人会の団体数と会員の推移は。

している。婦人会は平成17年度には13団体、会員数2276人から12団体、1000人となっている。

◎再問

老人クラブも婦人会も、趣味や社会活動を目的とした相互扶助組織であるが、双方とも、地域コミュニティが崩壊しつつある現状において、地域でのさまざまな社会活動や地域づくりという役割を担い、行政の地域施策を補完してくれているといえる。

この組織を元気に機能させていくことは地方創生にとっても大切だと考えるが、老人クラブ、婦人会の会員を増やすための支援・工夫また、それぞれにどのくらいの予算を投じているのか。

◎三木健康福祉部次長

市老人クラブ連合会の加入促進や活動状況を「広報よしのがわ5

し、加入促進につなげていきたい。総額で老人クラブには年間507万6400円、婦人会には年間112万2000円を補助している。

◎再々問

老人クラブも婦人会も、会員減と補助金減により活動費が減り、活動が細るから会員も増えないという悪循環に陥っていると思う。活動費の補助を増額しては。

◎三木健康福祉部次長

第3次行財政改革において、補助金の見直しを検討項目として明記されていることから、今後の検討課題とする。

【その他の質問】

◎質問

過去5年間の公用車での事故件数と損害額は。また、その際の懲戒処分の状況は。

○大久保産業経済部長  
森林の有する多面的機能を発揮させるため

◎質問  
山村の過疎化とともに放置される森林が増加している。豊かな里山や山村を次世代に健全な形で残していく必要がある。里山林の景観保全・整備活動状況は。

(答弁)国や県に要望したい

(質問)「森林・山村多面的機能発揮対策」事業の継続は



お かつお  
か だ 光 男  
岡 田

○増富健康福祉部長  
①学童保育の運営は、各学童クラブに登録している保護者などが、運営委員会、保護者会組織をつくり、各々

校の空き教室などを利用している。今後要望がある場合、健康福祉部と協議を行い検討する。



◎再問  
活動を広く知らせることにより、定年後の生きがい活動に結びつけ、里山を管理する多種多様な組織の拡大に力を入れるべきでは。

団体では、広葉樹林において雑草の刈り払い、歩道や作業道の開設、また、まきストーブやボイラー用の燃料とするための雑木の伐採や、植林などを行う計画としている。

の保全活動、および山村活性化に資する取り組みに対する支援策として、平成25年度から「森林・山村多面的機能発揮対策事業」があり、3つの団体が取り組んでいる。

○大久保産業経済部長

「森林・山村多面的機能発揮対策事業」については平成28年度までの事業となっている。そのため新たに事業着手したり拡大することは、条件的に厳しいと考える。

○川真田市長

里山は、特有の生物の生息・生育環境として、また、食料や木材な

◎再々問  
日本の森林のもつ貨幣価値は70兆円ともいわれている。都会において、森は人類的にとつて大事な資源である。今の事業の継続を県や国に要請すべきでないか。

○三木健康福祉部次長  
老人クラブは、平成17年度には単位老人クラブが49団体、会員数3690人から、38団体、2420人に減少

ど自然資源の供給、良好な景観など、さまざまな機能がある。里山や山村の実情を訴えながら、制度の拡充や延長などについて要望を行っていききたい。

【その他の質問】

◎質問  
地方創生で若い世代の希望をかなえる施策は。

◎政策監  
雇用や教育・子育て環境の充実により、結婚や出産に希望が持てる施策を行っていく。

◎質問

学校給食を無料化する自治体が増えてきているが、本市の考えは。

月号」に掲載するなど、市民への情報提供を行っており、今後においても随時、広報誌などで各団体の紹介やイベント情報などを周知

◎教育次長  
財政上の問題もふまえ十分な議論が必要現状では実施できない。

◎質問  
地方交付税の見直しは。

○総務部次長  
事故件数は、58件で損害額は15550万円。懲戒処分の状況は、口頭厳重注意が1件。

◎政策監  
本年度から平成31年度までの期間に総額は26億円程度、段階的に減収となる見込み。



グループで山林の保全活動



ますとみ よしあき  
**増富 義明**

**(質問) どのような人口ビジョンを持って進めていくのか**

**(答弁) 人口の将来展望を提示できるような策定を進める**

**◎質問**  
先般、日本創生会議が全国1800市町村の49・8%にあたる896の自治体が2040年には消滅する可能性があるという人口推計を発表した。本市もこれに該当する。

今後の社会情勢において、人口を増やすことは難しく、いかに今の人口を維持するかが大切だと思われるが、人口減少する中で、どのような将来展望を持って吉野川市版総合戦略を進め

ていくのか。

**◎香川政策監**

本市における年齢層別の人口推移は、これまでの国勢調査の結果によると0歳から14歳までの年少人口は20年間で3624人の減、15歳から64歳までの生産年齢人口は6035人の減、65歳以上の老年人口は4654人の増となっている。

今後は、若年女性人口の動向を含め、人口の現状分析と将来推計をしっかりと行い、めざすべき将来の方向と人口の将来展望を提示できるよう、人口ビジョンの策定を進める。

**◎再問**

創生会議が、東京圏の高齢者の移住を提言しており、本市を含む徳島県東部医療圏が受け入れ可能とされているが、本市は今後どのように進めていくのか。

**◎香川政策監**

高齢者の移住は、人口増や地域の活性化に一定の効果をもたらすと考えているが、介護保険をはじめ、受け入れ団体に過大な負担が生じることが懸念されることから、住所地特例の一層の拡大や移住元団体との財政調査を行う仕組みが不可欠であると考えている。

また、本市における介護施設は、待機者も発生し、受け入れ余力があるとはいいがたい。今後、本市の老年人口は、高水準で推移するものの、平成30年頃にはピークを迎えると推計されており、地域の活性化に加え、介護従事者の職の確保といった側面もあり、今後調査研究していきたい。

**【その他の質問】**

**◎質問**

婚活支援事業補助金を創設しては。

**◎健康福祉部長**

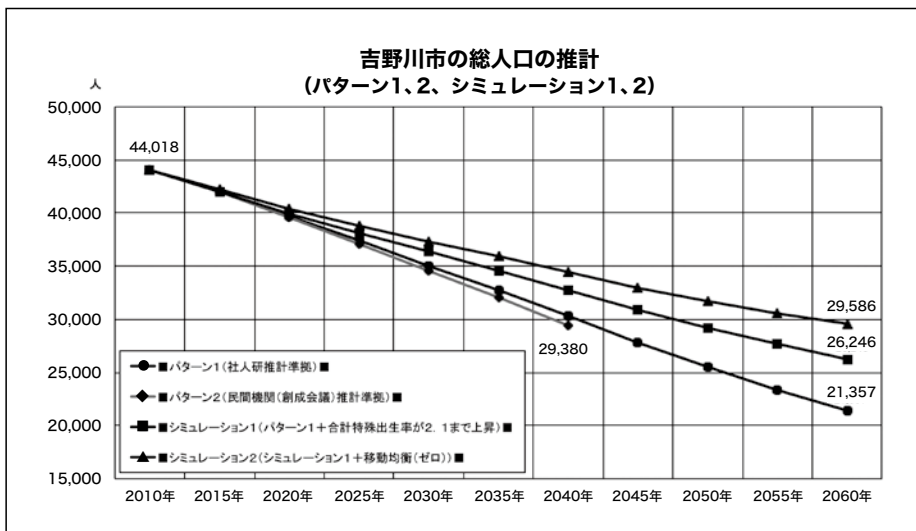
有効な助成事業を活用しながら、補助金の創設も含めて検討していきたい。

**◎総務部長**

安全性や他の市町村の動向を見極めながら検討していく。

**◎質問**

市の施設の電気を新電力から購入しては。



吉野川市の総人口推計

**会議録をご覧ください**

議会だよりに掲載された事柄以外の質問や答弁の内容を吉野川市のホームページ内に掲載していますのでぜひ一度ご覧ください。

吉野川市議会会議録

検索

**本会議・委員会を傍聴しませんか**

皆さんが選んだ議員の活動や行政が今、どのようなことを行っているかを知っていただくために、本会議などの議会の傍聴をしませんか。どなたでも傍聴できます。

お気軽にお越しください。

TEL (0883) 22-2241

## 市民のページ

## 投票所の看板を近代的に

鴨島町 藤井 茂明

現在、西尾第一投票所は飯尾敷地小学校、西尾第二投票所は西麻植小学校、西尾第三投票所は、飯尾敷地コミュニティセンターとなっている。

昭和29年3月31日に鴨島町、森山村、牛島村、西尾村の4か町村が合併し新鴨島町が誕生した。

知恵島は阿波郡柿島村より昭和32年鴨島町に編入。したがって西尾の地名は1954年で60年昔である。

来年の参議院選挙投票所の看板は正しい地名の看板で18歳を迎えたいものです。



## ■虫の名前です。

漢字をカタカナに直してください。

- |       |       |
|-------|-------|
| ① 蟋蟀  | ⑤ 蓑虫  |
| ② 蜻蛉  | ⑥ 揚羽蝶 |
| ③ 鋏形虫 | ⑦ 蝻螂  |
| ④ 飛蝗  | ⑧ 蟻   |

◎正解者の中から抽選で10名様に吉野川市ブランド認証品を進呈します。

◎応募要項

はがき、またはFAXに答えと郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、議事事務局へお送りください。応募の際に「チョットひと言」添えてみませんか。

◎送り先

〒776-8611  
吉野川市鴨島町鴨島115番地1  
TEL (0883) 22-2241  
FAX (0883) 22-2242

◎締切日

平成27年9月30日(消印有効)

## チョットひと言

☆吉野川医療センターが開院され、私たち市民にとって最高の医療が施されることを期待しています。

(山川町 谷本さま)

☆阿波とくしま商品券、あと8人目というところで売り切れでした。買い物予定変更にも悪戦苦闘しています。

(川島町 亀井さま)

☆孫達も4月から幼稚園と保育園へ。自由時間が少々増えた今日このごろです。

(鴨島町 岸本さま)

- |       |        |
|-------|--------|
| ① はも  | ② ぶり   |
| ③ ひらめ | ④ かずのこ |
| ⑤ まぐろ | ⑥ かれい  |
| ⑦ たこ  | ⑧ にしん  |

(前回の回答)

【応募総数】 58通

募 集 要 項

# 表紙の写真 募 集



**テーマ** 吉野川市で撮影した  
季節の風景や祭り、行事など。

**規 定** モノクロおよびカラープリント  
2L判～四切・W四切組  
写真も可(3点まで)  
住所・氏名・電話番号・題名を明記。

**その他** 作品の返却は行いません。採用された作品の  
使用およびトリミングなど加工については、  
吉野川市議会広報特別委員会に帰属するこ  
とをご了承ください。

**締 切** 平成27年9月30日(消印有効)  
発行は11月です。季節感のあるものをお願いします。

**応募先** 〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島115番地1  
TEL(0883) 22-2241  
FAX(0883) 22-2242

## 市民の皆さんの声を掲載

### … 規 定 …

- 400字詰原稿用紙2枚以内  
住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記
- 締め切り

平成27年9月30日(消印有効)  
\*投稿多数で掲載できない場合は、ご容赦ください。  
校正などは、吉野川市議会広報特別委員会で行います。

### …あて先…

〒776-8611  
吉野川市鴨島町鴨島115番地1  
TEL(0883) 22-2241  
FAX(0883) 22-2242

市政についての苦言  
やアイデア、趣味や人  
生観など多岐に渡つ  
て文章を募集します。  
ファックスでも結構で  
す。

## あとがき

「お母さん、図書館に行こう。」わが家では週末になる  
と決まってこの声が聞こえてきます。同時に私は慌ただ  
しく家事を済ませ図書館へ行き、子どもたちと一緒に楽  
しく時間を過ごしますが、先日テレビで、1か月に1冊  
も本を読まない人が47・5%という文化庁の調査結果が  
出ていました。特に若年層ではスマートフォン、インタ  
ーネットの普及により、「ネットで情報を得れば本を読ま  
なくても済む。」という感覚が広がっているようです。一方、  
教育現場では「新聞を読む、読書・読み聞かせの時間」  
などさまざまな工夫を凝らし、子どもたちの活字離れ対  
策に取り組んで下さっています。

私も何かできる事があればと思い、子どもが通ってい  
る小学校と、吉野川市ブックスタート事業の読み聞かせ  
ボランティアに参加しています。対象者はそれぞれ違い  
ますが、聞き手のいろいろなつぶやきを楽しみながら、  
読み手と聞き手が同じ時間と空間を共有でき、「コミュニ  
ケーションツールにもなっています。

私たち市議会議員も、常に市民の皆さまとあらゆる形  
でコミュニケーションを取らせていただくことで一般質  
問などにつながり、この議会だよりが成り立っています。  
議会で今何を話し合っているのか、子どもから大人まで  
多くの方々に読んでいただける議会だよりをめざしてい  
きたいと思えます。まずは、関心を持っていただける議  
会に…。

### 【編集委員】

- |           |         |
|-----------|---------|
| 委員長 岸田益雄  | 委員 塩田智子 |
| 副委員長 岡田光男 | 委員 阿佐勝彦 |
|           | 委員 田村修司 |
|           | 委員 高木純  |